

事業実績書

事業名		沼津 e スポーツフェスティバル 2024
場所		ふじのくに千本松フォーラム キラメッセぬまづ
期間		令和6年6月1日 ～ 令和7年3月25日
	日程	実施項目・作業項目
事業 内 容	常時 6/6 ほか 9/22 ～9月 ～10月 随時 12/6 12/7 3/15 ～3/25	※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。 (打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など) 【実施内容】 ▼事前準備 ・総会の開催 (R6. 3. 31、R6. 4. 8) ・新会員説明会 (R6. 5. 24) ▼Discord を使った役員会 (非同期チャットで常時) ▼登壇者の芸能事務所との打ち合わせ ▼「みんなのポッドキャストフェス」出展 ▼扱うゲームの選定、IPホルダーへの許諾申請 ▼協賛の依頼、協力・後援の依頼 ▼その他企画・運営 ・ステージ企画の作成 ・ポスター・フライヤーのデザイン、配布・掲示依頼・設置依頼 ・当日パンフレットの作成 ・WEBサイトの作成 ・SNS(X)アカウントの運営 ・飲食ブースの企画、打ち合わせ ▼前日準備・設営 ▼「沼津 e スポーツフェスティバル 2024」実施 会場：ふじのくに千本松フォーラム キラメッセぬまづ 多目的ホール 1+2 対象：誰でも入場可 ▼総会の開催 ▼事業報告書の作成 【人員配置及び役割分担(兼務あり)】 役員会：役員9名(うち会長1名・幹事長1名)、顧問1名、監査委員1名 リーダーズ会議：17名 広報：デザイナー2名、フロントエンドエンジニア1名、他 VTuber 企画：14名 ゲームブース企画：27名 ステージ企画：17名 渉外：21名 総務：13名 財務：16名 撮影：1名 当日スタッフ等：ブーススタッフ、受付、ステージスタッフ等約100名
	事業効果	※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。 ①市外からも多くの方が訪れる(関係人口の創出) 成果指標：沼津市外からの来場者100名以上(スタッフ等含む) →アンケートの結果、196名が市外から来場した。 ②市内学校の e スポーツ活性化 成果指標：誠恵高等学校・飛龍高等学校の学生へアンケートを行い、「イベントを通じて、部活動に取り組む意識やモチベーションが向上したか」という設問に「はい」と回答した人数が80%以上

	→アンケートの結果 100%が「はい」と回答 ③高齢者がeスポーツに触れるきっかけが生まれる 成果指標：60歳以上の来場者 20名以上 →60歳以上の来場者が 25名あった。 ④中心市街地への賑わいにつなげる 成果指標：来場者 1000名以上（スタッフ除く） →1322名が来場。 ⑤障がい者に希望や自身を持っていただく 成果指標：「将来への希望を感じた」と回答した障がい者 10名以上 →結果は 8名中 7名。
自己評価	※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。 ①アンケートの結果だけでも、119名が静岡県外からの来場者であり、海外からの来場者も。ブースのスタッフ等も含めると、250名以上が市外から参加しており、アンケート未回答者もいるため、実際の人数はさらに多いものとする。 ②学校の部活動の部員に対し、活躍の場を提供することで、モチベーション向上にも貢献できていることが確認できた。 ③目標は達成しているが、割合としては少ないため、今後も工夫を重ねる必要がある。 ④前回の 1080名から大幅に増加した。 ⑤障がい者の来場が確認できたのは 8名に留まった。ある障がい者関係団体に広報の依頼をしたものの、結果的には協力いただけなかった。障がい者団体等に対するアプローチを計画的に行うべきであった。障がいがあっても活躍できる分野であることはある程度認知いただけたと考える。
今後の活動予定	※ 補助金を利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。 イベント自体は継続していきたいが、必ずしも年1回のペースを守れるかはまだ未定。 補助金申請は次回も行いたいと考えてはいるが、補助金が無くてもやっていけるだけの協賛金を得る努力は引き続き必要であると考えている。 やれること、もっと工夫できることは多くあるが、スタッフの負担が非常に大きいことから、事業の趣旨に賛同してくれる会員を増やしていくことが急務である。